

(公印省略)
令和6年9月24日

川西市議会議長
大崎淳正様

厚生文教常任委員長
岡留美

委員会報告書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、別紙のとおり決定したので、会議規則第101条の規定により報告します。

厚生文教常任委員会における審査の経過と結果について（審査日：令和6年9月10日）

1．議案第48号 川西市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案の概要

本案は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項の規定に基づき、本市が個人番号を利用する事務として福祉医療費の助成に関する事務を追加するため、条例の一部を改正するにつき議会の議決を求めるもの。

質疑の概要

問 本条例改正案により、福祉医療費の助成対象者が他市区町村から本市に転入してきた場合に、個人番号を利用した情報連携により、転入者が課税証明書を取り寄せる手間やその発行手数料を支払うことがなくなるものと認識しているが、今回の改正が及ぼす影響が他にあるのか伺いたい。

答 本案は、本市が個人番号を利用する事務として福祉医療費の助成に関する事務を追加するものであり、その他に影響はないものである。

問 個人番号を利用した情報連携に関して、転入者が窓口で申請した際には受給者証が即時発行可能となるのか伺いたい。

答 他市区町村との情報連携には一定の時間を要することから、受給者証については、即日交付ではなく翌日に発送する予定としている。なお、当日に情報の確認が可能であれば、即日での交付も考えているところである。

問 情報連携に要する時間により、転入者の受給者証が翌日発送となった場合において、受け取りまでの間に医療機関を受診した場合の費用負担について伺いたい。

答 当該費用負担について、資格発生日は現行と変更なく、転入日を起点として医療費の助成を行なうものである。

特記事項 なし

審査結果 原案可決（全員賛成）

2．議案第49号 川西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案の概要

本案は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の制定に伴い、条例の一部を改正するにつき議会の議決を求めるもの。

質疑の概要

問 本案は、紙の被保険者証がなくなることに関連するものと認識しているが、現在使用している紙の被保険者証の有効期限に影響はあるのか確認したい。

答 紙の被保険者証の有効期限に影響はなく、被保険者証に記載の有効期限まで使用可能である。

問 令和6年12月2日以降、マイナ保険証を保有していない場合には、保険者から資格確認書が交付されると聞き及んでいるが、対象者及び送付方法を伺いたい。

答 対象者はマイナンバーカードの未取得者や保険証利用未登録者等であり、世帯ごとに送付する予定となっている。なお、世帯内に対象者と非対象者がいる場合には、それぞれに資格確認書または資格情報のお知らせを同封する考えである。

特記事項 なし

審査結果 原案可決（賛成多数）

3. 議案第50号 令和6年度川西市一般会計補正予算（第3回）

議案の概要

第1表 歳出第4款衛生費のうち第1項保健衛生費。

質疑の概要

（1）第1表 歳出

第4款 衛生費

問 予防事業において、新型コロナワクチン定期接種委託料として、2億7924万3000円を追加しようとしているが、対象者の詳細及び想定人数について伺いたい。

答 対象者は、65歳以上の方及び60歳から64歳で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能障害、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫の機能障害により身体障害者手帳1級相当の方である。また、想定人数は、当初2万6092人と見込んでいたが、本補正において、昨今の感染状況に鑑み、接種者数の見込みに余裕を持たせ上乗せしているものである。

問 今回の新型コロナワクチン定期接種において使用するワクチンの種類について伺いたい。また、市内で接種可能な医療機関等の詳細を含め、市民への周知方策を伺いたい。

答 現在、国で採用されようとしているワクチンは5種類と聞き及んでいるが、そのうち、現在承認されているものは4種類と認識している。また、市内で接種可能な

<p>医療機関については、市が定期接種の委託契約をしている川西市医師会加入の医療機関から募集している状況である。</p> <p>今後、定期接種の概要について、広報誌やホームページで周知していく予定であり、市内で接種可能な医療機関の一覧はホームページに掲載する予定であるが、使用するワクチンについては医療機関により異なるため、特定の種類のワクチンの接種を希望する場合には、接種を希望する医療機関に確認いただく考えである。</p> <p>問 ワクチンの種類が複数ある点に関して、接種する種類によって費用負担に差異があるのか伺いたい。</p> <p>答 接種するワクチンの種類によって費用負担に差異はないものである。</p>
特記事項 なし
審査結果 原案可決（全員賛成）

4．議案第51号 令和6年度川西市介護保険事業特別会計補正予算（第2回）

<p>議案の概要</p> <p>本案は、令和5年度国・県交付金等の精算に伴う償還金支払のため、補正を行おうとするもの。</p>
質疑の概要 質疑なし
特記事項 なし
審査結果 原案可決（全員賛成）

5．請願第4号 市北部地域の就学前教育保育環境の充足を求める請願書

<p>請願の趣旨</p> <p>令和6年3月末をもって、市立東谷幼稚園が園児数の減少により休園となったが、笹部、国崎、東畦野、長尾、大和といった地区で、合わせて300軒を超える住宅の増加が見込まれ、地域としては子育て世代が転入し、まちが活性化することに大いに期待している。市が東谷幼稚園の休園を決めた時期よりも、就学前児童数の推計をはじめ、就学前教育保育を取り巻く環境が大きく変化しつつあり、牧の台みどりこども園は、現状でも入園希望児が定員を超え、入園できないことも少なくないと聞いている。</p> <p>そこで、休園となった東谷幼稚園の施設を牧の台みどりこども園の分園として整備することをはじめ、北部地域における就学前教育保育環境の充足に向けて、あらゆる角度から検討し、市立東谷幼稚園を就学前教育保育施設として利活用するなど、北部地域の教育保育環境の充足を図ることを請願する。</p>

特記事項 請願者の発言申出による趣旨説明あり

審査結果 採択（全員賛成）

6．請願第5号 高齢者の居場所づくりを確保することについての請願

請願の趣旨

無縁社会の危険性が叫ばれるようになり、拍車をかけるように新型コロナウイルス感染症が蔓延し、ますます人とひとの関係が希薄となり、社会的孤立が大きな課題となっている。その課題解決のために地域の居場所が重要な役割を果たすことは様々な検証結果が出ている。居場所への参加が高齢者の心身の健康面へプラスの効果があり、フレイル予防（虚弱化予防）につながることも指摘されている。厚生労働省調査（2010年）では、地域活動・ボランティアグループへの参加割合が高い地域ほど、認知症リスクを有する後期高齢者の割合が低いこと、また趣味関係のグループへの参加割合が高い地域ほど、うつ得点平均値が低いことが指摘され、外出をせず家に閉じこもっている高齢者は認知症やうつになりやすく、逆に高齢者が居場所を通して人と交流しさまざまなつながりを持つことが心身の健康を向上させると言われている。

また、最近注目されている高齢者の「幸福度」や「生活満足度」の研究では、男女ともに外部の集団への参加、旅行頻度、友人との会食頻度、社会活動・ボランティア活動への参加頻度が高い人たちの方が幸福度・満足度が高いことも示されている。居場所が地域に住む人々のつながりを深め、地域の助け合いの拠点に発展することで、居場所を通して地域の高齢者の買い物、ゴミ出し、障がいのある人への支援、さまざまな助け合い活動が全国に展開してきており、そうした地域の課題解決のためにきめ細やかな支援の地域拠点として居場所には大きな期待が寄せられている。

そこで、老人福祉センターならびに老人憩いの家の廃止が決定されているが、川西市のこれから高齢者への活動拠点の確保、高齢者の生き方への支援について検討し、高齢者の居場所づくりに対して格段の配慮をすることを請願する。

特記事項 なし

審査結果 採択（全員賛成）
